地域と共生する再エネ　地熱発電

福島県土湯温泉の源泉から湧出する蒸気・熱水を使用し、
バイナリー発電設備により発電を実施。
（平成 26 年に工事を開始し、平成 27 年に工事が完了。）
また、発電後の冷却水と温泉水の活用により、
オニテナガエビの養殖に最適な水温を保つ熱交換装置を設置。

電力を一切使用しないため、光熱費が高く国内では
進んでいなかったエビの養殖事業を可能にした。

地域住民等への地熱開発への理解促進とともに、
温泉街をさらに活性化させるため、養殖施設
とともに、冬季でも利用可能な展望デッキ
（熱水を利用し融雪）を整備している。

地熱発電と養殖事業、観光の活性化

詳しくはこちら>

土湯温泉バイナリー発電事業（福島県福島市）